

県内経済動向調査結果（平成22年9月分）

平成22年11月 9日
産業政策課

概 況

県内経済は、依然として厳しさが残る中、製造業を中心に持ち直しの動きが続いている。
ただし、昨今の急速な円高等による影響が懸念される。

主な業種	状 況
製 造 業	持ち直しの動きが続いている。ただし、円高等による影響が懸念される。 生産額、受注額はそれぞれ前年同月比15.0%増、同15.5%増となった。3カ月先の業況見通しDIは▲27.9から▲20.9となった。
建 設 業	公共工事の減少により弱めの動きが続いている。 受注額、完工高はそれぞれ前年同月比38.5%減、同23.1%増となった。3カ月先の業況見通しDIは▲37.5から▲31.3となった。
小 売 業	引き続き家電の売れ行きが好調である。 売上高は前年同月比8.2%増、3カ月先の業況見通しDIは▲35.7から▲13.8となった。
サービス業	運輸業で回復の動きが見られる。 売上高は前年同月比0.6%増、3カ月先の業況見通しDIは▲17.9から▲21.4となった。

製造業の動向

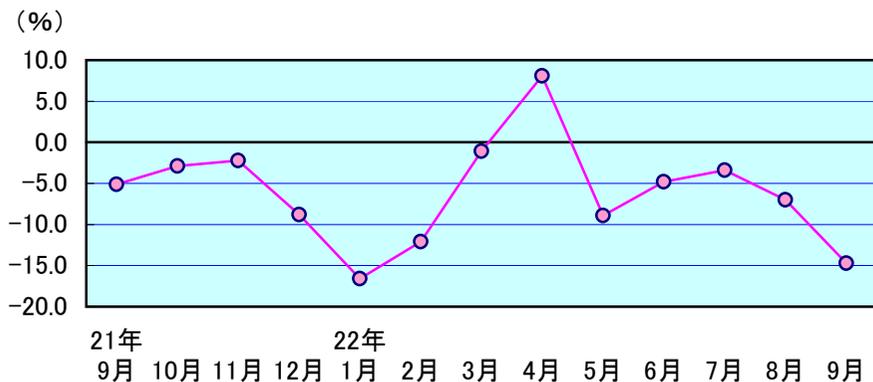
1 食料品

弱めの動きとなっている

生産額は前年同月比14.7%減と前年同月を下回っている。3カ月前の業況見通しDIは▲13.3から▲20.0となった。

残暑の影響により、菓子、加工食品、酒類といったほとんどの業種で売上額が前年同月を下回っており、低調な動きが続いている。

食料品生産額前年同月比



	21年				22年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
食料品	-5.1	-2.9	-2.2	-8.8	-16.6	-12.1	-1.1	8.1	-8.9	-4.8	-3.4	-7.0	-14.7

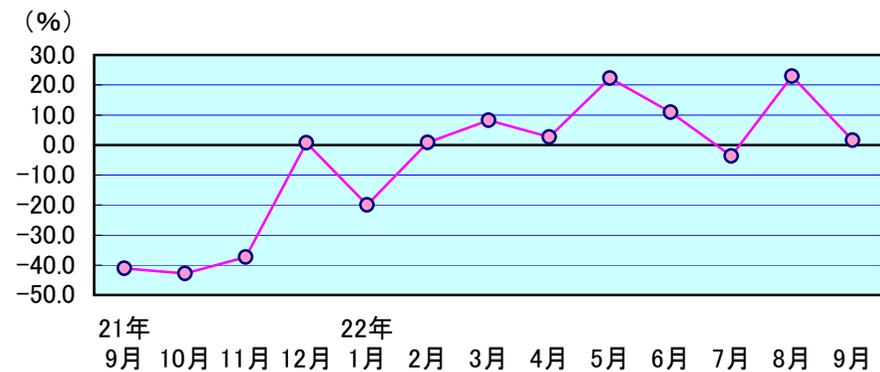
2 繊維・衣服

弱めの動きとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比1.6%増、同0.5%増。3カ月前の業況見通しDIは▲16.7から16.7となった。

一部企業で学校用スポーツウェアの受注により生産額が前年同月を上回っていることから、全体としても生産額が前年同月を上回っているものの、依然として一昨年の水準には達しておらず、総じて見れば弱めの動きが続いている。

繊維・衣服生産額前年同月比



	21年				22年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
繊維・衣服	-41.1	-42.8	-37.3	0.7	-20.0	0.8	8.2	2.7	22.3	10.9	-3.7	22.9	1.6

3 木材・木製品

やや強含みとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比3.5%増、同5.2%増。3カ月先の業況見通しDIは0.0から8.3となった。

合板では、一部企業で販売単価の値上がりと受注が堅調であることから、生産額が増加している。

なお、県内の新設住宅着工戸数は3カ月ぶりに前年を下回るなど依然低水準であり、住宅市況の落ち込みが懸念される。

4 鉄鋼・金属製品

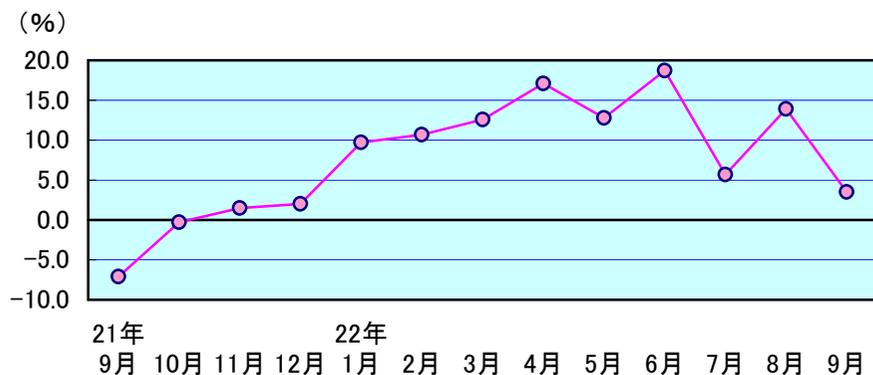
弱含みとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比12.6%増、同9.9%増。3カ月先の業況見通しDIは▲36.4から▲9.1となった。

機械関連や鋼管関連の一部企業で受注が好調に推移しており、生産額が前年同月を上回っているものの、産業設備関連の一部企業では受注件数の減少などから、前年同月比でマイナスの状況となっている。

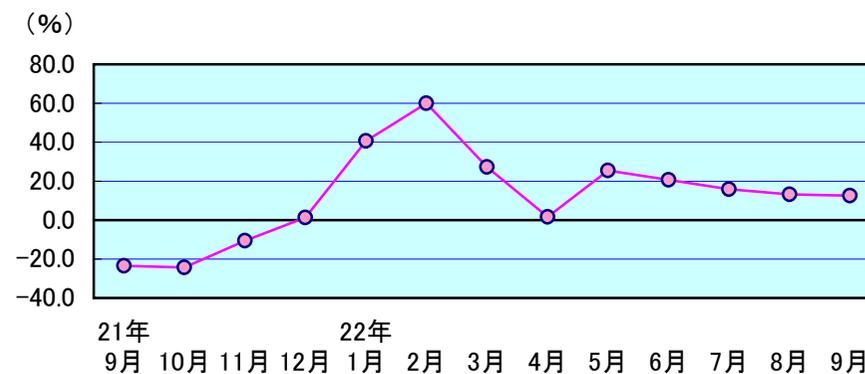
総じて見れば一昨年の生産額を依然として下回っており、弱含みの状況が続いている。

木材・木製品生産額前年同月比



	21年				22年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
木材・木製品	-7.1	-0.3	1.5	2.0	9.7	10.7	12.6	17.1	12.8	18.7	5.7	13.9	3.5

鉄鋼・金属生産額前年同月比



	21年				22年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
鉄鋼・金属	-23.4	-24.3	-10.5	1.3	40.6	60.0	27.3	1.7	25.5	20.7	15.9	13.3	12.6

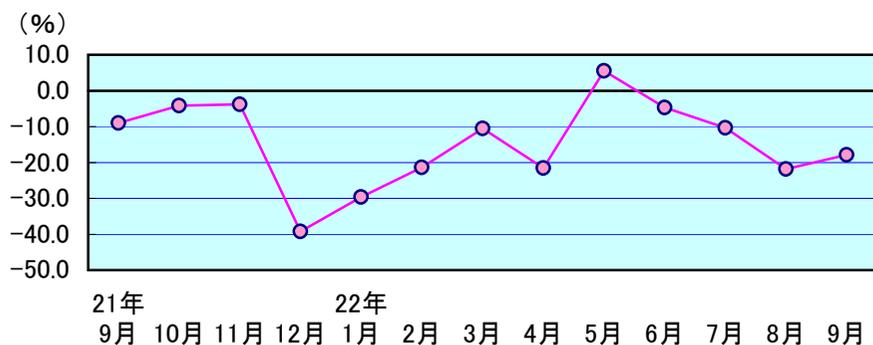
5 一般機械

弱めの動きとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比17.9%減、同1.8%減。3カ月先の業況見通しDIは▲50.0から12.5となった。

産業機械設備や工作機械などで受注動向が思わしくなく、全体的にも生産額が前年同月を下回っており、弱めの動きとなっている。

一般機械生産額前年同月比



	21年				22年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一般機械	-9.0	-4.2	-3.8	-39.2	-29.6	-21.4	-10.5	-21.6	5.5	-4.7	-10.4	-21.8	-17.9

6 電気機械

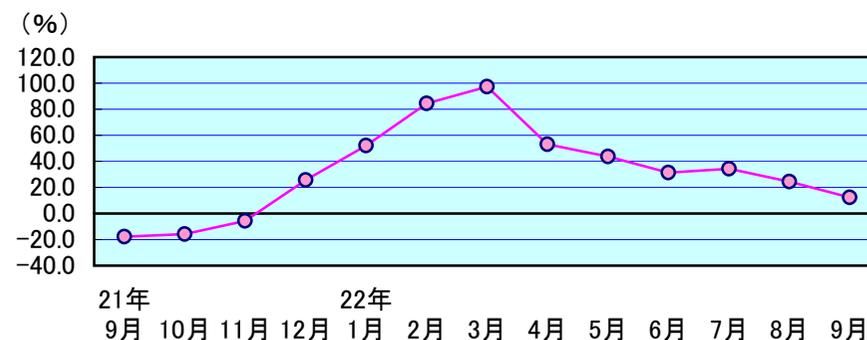
強めの動きとなっている

生産額、受注額は、それぞれ前年同月比12.4%増、同13.2%増。3カ月先の業況見通しDIは▲50.0から▲70.0となった。

全体の生産額は堅調に推移しており、一昨年の生産額に迫る水準まで回復してきている。また、海外需要が好調であることから、電子部品組立関連などで生産額が増加している。

ただし、円高による影響が懸念される。

電気機械生産額前年同月比



	21年				22年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
電気機械	-17.7	-15.9	-5.7	25.6	52.0	84.5	97.2	53.1	43.6	31.4	34.4	24.5	12.4

7 輸送機械

回復基調が続く

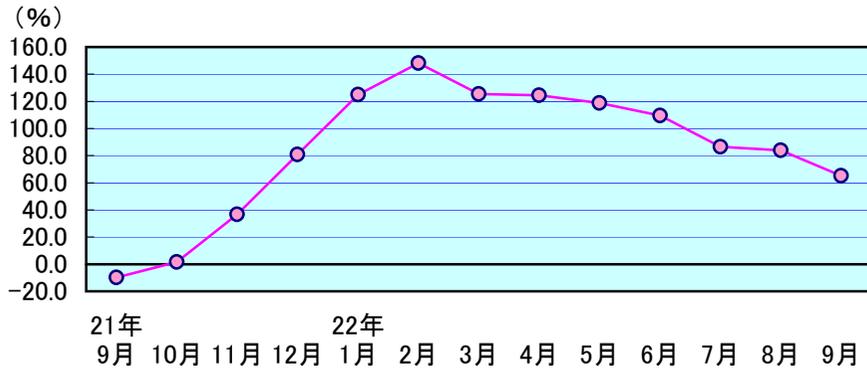
生産額、受注額はそれぞれ前年同月比65.1%増、同71.9%増。3カ月先の業況見通しDIは▲50.0と横ばいであった。

引き続き、生産額は堅調に推移している。

また、一部企業では一昨年を上回る生産額となるなど、回復基調が続いている。

しかし、3カ月先の見通しについて、国の補助事業終了に伴う生産量の減少が懸念される。

輸送機械生産額前年同月比



	21年				22年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
輸送機械	-9.7	1.6	36.7	80.9	124.8	148.1	125.3	124.4	118.8	109.5	86.5	83.9	65.1

8 精密機械

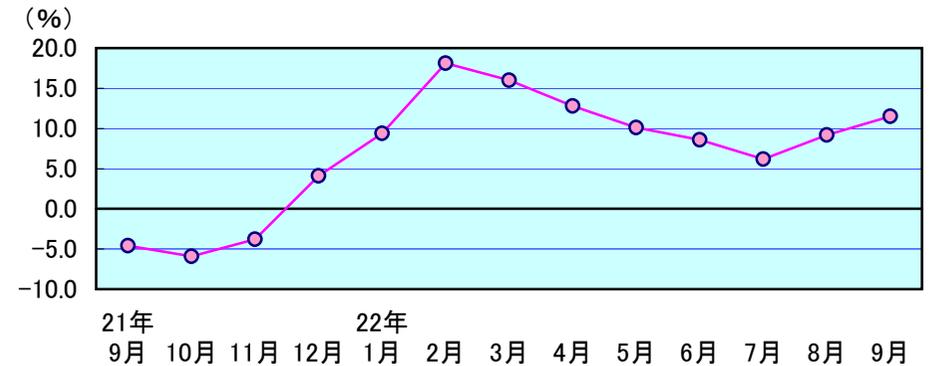
回復基調が続く

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比11.5%増、同3.4%減。3カ月先の業況見通しDIは0.0と横ばいであった。

光ファイバー関連部品やデジタルカメラ関連部品、医療関連商品など、総じて生産額が増加している。

また、一部企業では一昨年を上回る生産額となるなど、回復基調が続いており、総じて好調に推移している。

精密機械生産額前年同月比



	21年				22年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
精密機械	-4.6	-5.9	-3.8	4.1	9.4	18.1	16.0	12.8	10.1	8.6	6.2	9.2	11.5

建設業の動向

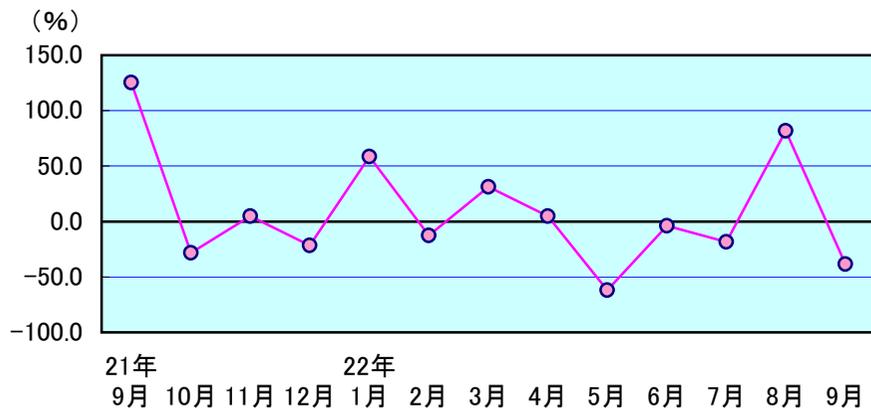
建設業

公共工事の減少により弱めの動きが続いている

受注額、完工高はそれぞれ前年同月比38.5%減、同23.1%増。3カ月先の業況見通しDIは▲37.5から▲31.3となった。

公共工事の減少に伴い、全体の受注額は前年を下回っており、弱めの動きが続いている。

建設業受注額前年同月比



	21年				22年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
建設業	125.4	-28.2	4.7	-21.5	58.5	-12.5	31.3	4.7	-62.0	-3.8	-18.5	81.9	-38.5

小売業の動向

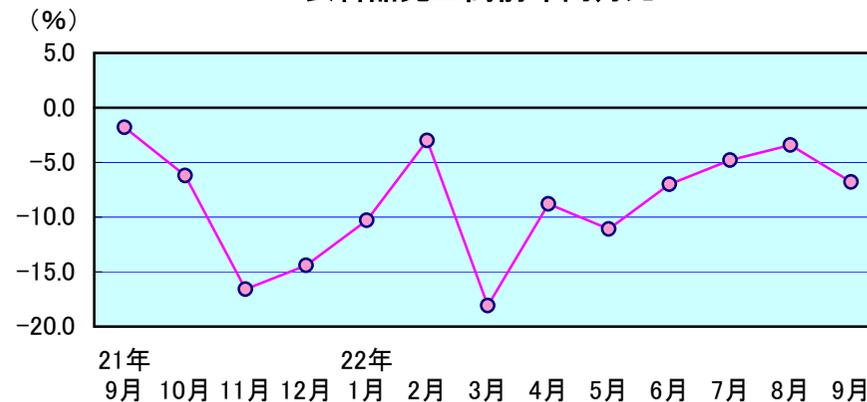
1 衣料品

弱めの動きとなっている

売上高は前年同月比6.8%減。3カ月先の業況見通しDIは▲40.0から20.0となった。

一部企業で秋物衣料に動きがあり、売上額が前年同月を上回っているものの、全体としては売上額が前年同月を下回っており、総じて厳しい状況が続いている。

衣料品売上高前年同月比



	21年				22年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
衣料品	-1.8	-6.2	-16.6	-14.4	-10.3	-3.0	-18.1	-8.8	-11.1	-7.0	-4.8	-3.4	-6.8

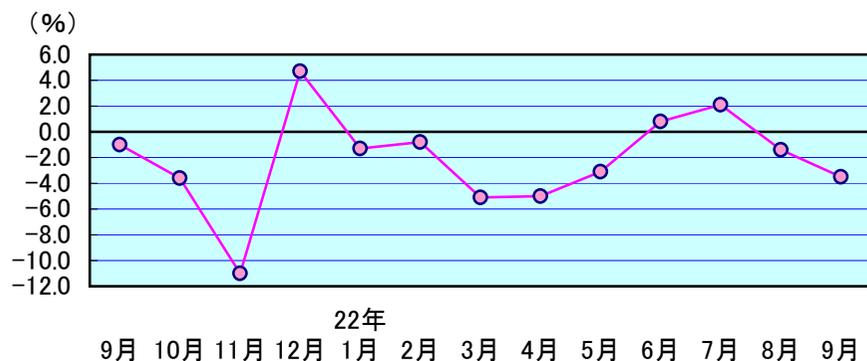
2 身回品

弱含みとなっている

売上高は前年同月比3.5%減。3カ月先の業況見通しDIは▲28.6から▲14.3となった。

客数の減少により売上額が前年同月を下回っている企業が見受けられるなど、ほとんどの企業で前年同月を下回っており、弱含みとなっている。

身回品売上高前年同月比



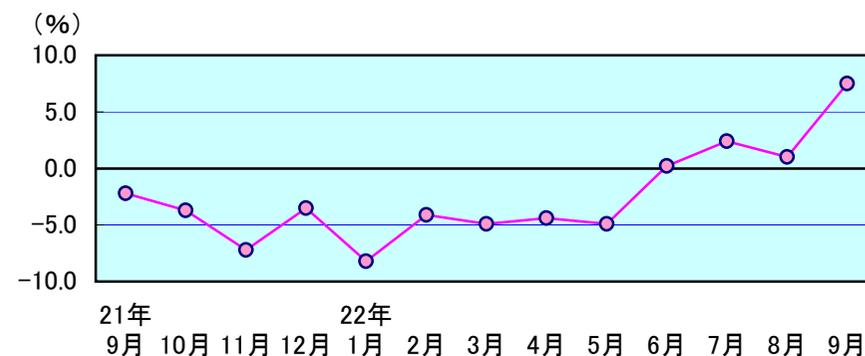
3 飲食料品

たばこの駆け込み需要により売上額が増加

売上高は前年同月比7.5%増。3カ月先の業況見通しDIは▲53.8から▲38.5となった。

コンビニや一部スーパーにおいて、たばこの値上げを控えた駆け込み需要により売上額が増加した。

飲食料品売上高前年同月比



	22年												
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
身回品	-1.0	-3.6	-11.0	4.7	-1.3	-0.8	-5.1	-5.0	-3.1	0.8	2.1	-1.4	-3.5

	21年				22年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
飲食料品	-2.2	-3.7	-7.2	-3.5	-8.2	-4.1	-4.9	-4.4	-4.9	0.2	2.4	1.0	7.5

サービス業の動向

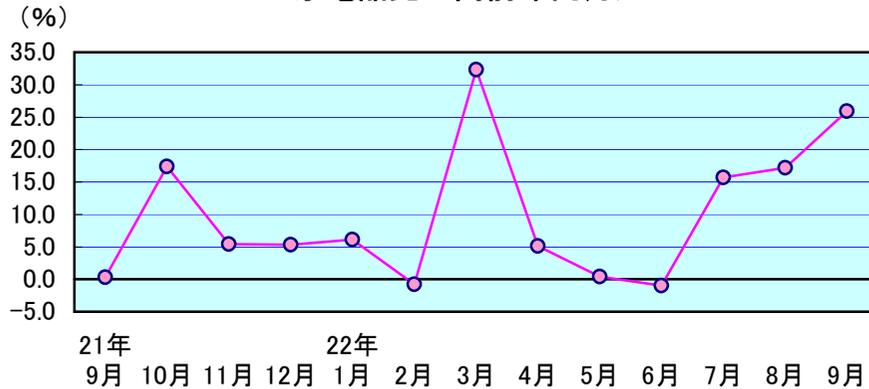
4 家電品

エコポイント対象商品の売れ行きが好調

売上高は前年同月比25.9%増。3カ月先の業況見通しDIは33.3から25.0となった。

薄型テレビの売れ行きが堅調に推移しているほか、残暑の影響によりエアコンや冷蔵庫の売れ行きが好調であったことから、売上額を押し上げた。

家電品売上高前年同月比



	21年				22年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
家電品	0.3	17.4	5.4	5.3	6.1	-0.8	32.3	5.1	0.4	-1.0	15.7	17.2	25.9

1 旅館・ホテル

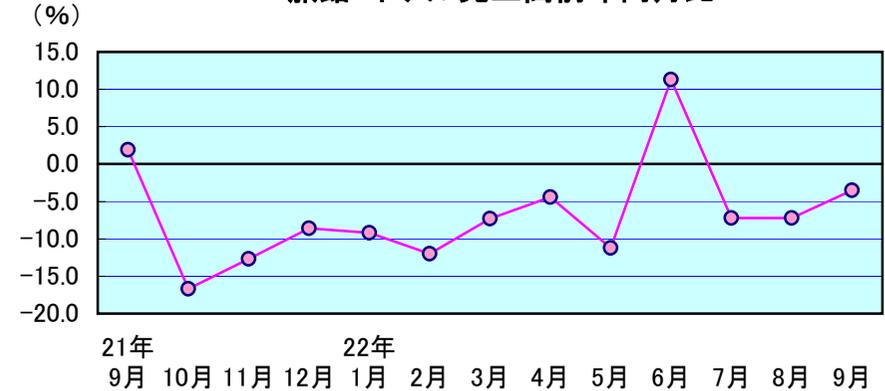
弱めの動きとなっている

売上高は前年同月比3.5%減。3カ月先の業況見通しDIは▲13.3と横ばいであった。

昨年のシルバーウィーク（5連休）に対して、今年の休日は飛び石だったことから、宿泊部門で客数が減少し、売上額が落ち込んでいる。

総じて見れば、弱めの動きとなっている。

旅館・ホテル売上高前年同月比



	21年				22年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
旅館・ホテル	1.9	-16.7	-12.7	-8.6	-9.2	-12.0	-7.3	-4.4	-11.2	11.3	-7.2	-7.2	-3.5

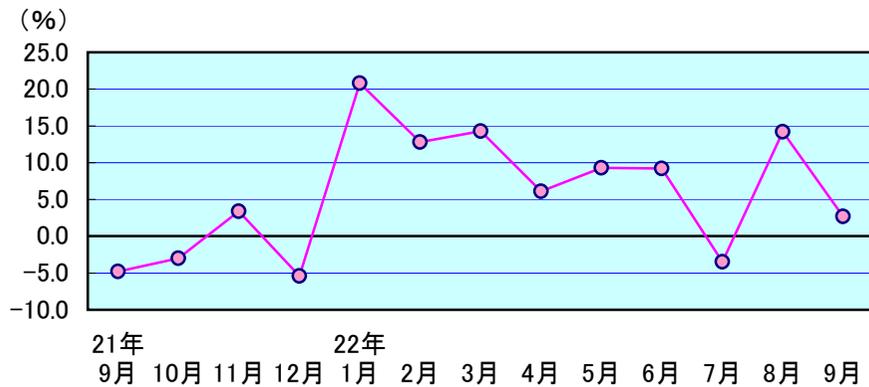
2 その他サービス

やや弱含みとなっている

売上高は前年同月比2.7%増。3カ月先の業況見通しDIは▲23.1から▲30.8となった。

一部運輸業で、自動車関連部品の生産増に伴い貨物輸送量が増加しており、引き続き好調を維持しているほか、一部コンピュータ関連業においても受注が増加し売上が前年同月を上回っており、全体の売上額を押し上げた。

その他サービス業売上高前年同月比



	21年	10月	11月	12月	22年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
その他サービス	-4.8	-3.0	3.4	-5.4	20.8	12.8	14.3	6.1	9.3	9.2	-3.5	14.2	2.7	